

会議録【全文筆記】

会議名称	令和5年度第3回米沢市行政経営市民会議																															
開催日時	令和5年11月10日（金） 午後3時00分～午後4時15分																															
開催場所	米沢市役所 3階 庁議室																															
出席者	<table><thead><tr><th></th><th>(委員等氏名)</th><th>(所属団体等)</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員長</td><td>神原 祐哉</td><td>神原法律事務所</td></tr><tr><td>委員</td><td>伊藤 優子</td><td>株式会社ニューメディア</td></tr><tr><td>委員</td><td>岩崎 令子</td><td>米沢観光コンベンション協会</td></tr><tr><td>委員</td><td>大竹 茂</td><td>山形おきたま農業協同組合</td></tr><tr><td>委員</td><td>鈴木 修</td><td>米沢信用金庫</td></tr><tr><td>委員</td><td>高橋 郁子</td><td>学校法人松原学園 ひばりが丘幼稚園</td></tr><tr><td>委員</td><td>田中 明子</td><td>米沢商工会議所</td></tr><tr><td>委員</td><td>中川 恵</td><td>米沢女子短期大学</td></tr><tr><td>委員</td><td>新田真有美</td><td>公募委員</td></tr></tbody></table>			(委員等氏名)	(所属団体等)	委員長	神原 祐哉	神原法律事務所	委員	伊藤 優子	株式会社ニューメディア	委員	岩崎 令子	米沢観光コンベンション協会	委員	大竹 茂	山形おきたま農業協同組合	委員	鈴木 修	米沢信用金庫	委員	高橋 郁子	学校法人松原学園 ひばりが丘幼稚園	委員	田中 明子	米沢商工会議所	委員	中川 恵	米沢女子短期大学	委員	新田真有美	公募委員
	(委員等氏名)	(所属団体等)																														
委員長	神原 祐哉	神原法律事務所																														
委員	伊藤 優子	株式会社ニューメディア																														
委員	岩崎 令子	米沢観光コンベンション協会																														
委員	大竹 茂	山形おきたま農業協同組合																														
委員	鈴木 修	米沢信用金庫																														
委員	高橋 郁子	学校法人松原学園 ひばりが丘幼稚園																														
委員	田中 明子	米沢商工会議所																														
委員	中川 恵	米沢女子短期大学																														
委員	新田真有美	公募委員																														
欠席者	<table><thead><tr><th></th><th>(委員等氏名)</th><th>(所属団体等)</th></tr></thead><tbody><tr><td>委員</td><td>青山 浩子</td><td>プラットヨネザワ株式会社</td></tr><tr><td>委員</td><td>菊地 智</td><td>山形銀行</td></tr><tr><td>委員</td><td>岸 弘行</td><td>米沢公共職業安定所</td></tr><tr><td>委員</td><td>佐藤 幸治</td><td>連合山形置賜地域協議会</td></tr><tr><td>委員</td><td>杉本 俊之</td><td>山形大学</td></tr></tbody></table>			(委員等氏名)	(所属団体等)	委員	青山 浩子	プラットヨネザワ株式会社	委員	菊地 智	山形銀行	委員	岸 弘行	米沢公共職業安定所	委員	佐藤 幸治	連合山形置賜地域協議会	委員	杉本 俊之	山形大学												
	(委員等氏名)	(所属団体等)																														
委員	青山 浩子	プラットヨネザワ株式会社																														
委員	菊地 智	山形銀行																														
委員	岸 弘行	米沢公共職業安定所																														
委員	佐藤 幸治	連合山形置賜地域協議会																														
委員	杉本 俊之	山形大学																														
事務局出席者	副市長、総務部長、企画調整部長、市民環境部長、健康福祉部長、産業部長、建設部長、会計管理者、上下水道部長、市立病院事務局長、教育管理部長、教育指導部長、議会事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長、総務課長、財政課長、政策企画課長、教育総務課長、政策企画課長補佐、政策企画課経営政策主査、政策企画課主任（経営政策担当）、政策企画課主事（経営政策担当）																															
会議次第	1 開会 2 副市長あいさつ 3 委員長あいさつ 4 議事 (1)米沢市人口ビジョン（案）について (2)米沢市デジタル田園都市構想総合戦略（骨子案）について (3)策定スケジュールについて 5 閉会																															
会議資料	次第 資料1_米沢市人口ビジョン（案）概要版 資料2_米沢市人口ビジョン（案） 資料3_米沢市デジタル田園都市構想総合戦略（案）概要版 資料4_米沢市人口ビジョン及び米沢市デジタル田園都市構想総合戦略策定スケジュール																															
会議内容																																
【1 省略】																																
【2 副市長あいさつ】 本日もご出席いただきましてありがとうございます。寒くなつてまいりましたのでどうぞご自愛いただきたいと思います。																																

先日、秋山庄太郎写真記念米沢写真文化賞の授賞式がございました。市長に代わり賞状を授与していたのですが、委員長も受賞されておりました。様々なご趣味を持っていらっしゃる多彩な委員長に本会議をまとめていただけることを大変幸せに思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【3 委員長あいさつ】

授賞式ではありがとうございました。

先日、開催の会議からそんなに時間も空けずに今日の開催ということで、前回の関連事項についての議論でもございますし、記憶の鮮明なうちに議論できればと思っておりますので、委員の皆様、積極的なご意見をよろしくお願いいたします。

【4 議事】

(1) 米沢市人口ビジョン（案）について

(資料1、資料2について事務局より説明)

委員

この人口減少問題を行政として資料1にまとめていただいているわけですが、これは本当に大きな行政の仕事だと思います。1つずつ課題を解決していくことと、それからどのように取り組むかが大事なことだと思います。人口減少社会の中で、この米沢市が雇用の創出や若者の定住化など様々な課題はあると思いますが、事務局のお考えをお聞かせ願えればと思います。

事務局

台湾に11月3日から6日まで行ってまいりました。向こうの温泉で様々なお祭りがあって、そこに参加をさせていただきながら、米沢に少しでも多くの台湾の方が観光に来ていただきたいということを目指してまいりました。日本国内の温泉街のある首長も多く参加されていた中で、米沢がより魅力のある町だということをとて感じました。米沢からの参加者は花笠音頭を踊ってくださって、観光コンベンション協会の青年部や愛の武将隊などが一緒に行ってください、米沢が一番人気でした。次々、台湾の方が来てくださって写真を撮るなどの場面を見たときに、米沢の持っている魅力はとても高く、それを何とかうまく発信していくと大勢の方が米沢に来てくだり、米沢に住んでいる人たちも市外へ出ていかなくなるのかなということを感じました。人口減少は全国的なもので、これを食い止めることは難しいですが、少しでも遅らせていく、もしくはプラスに転じていくためには、やはり私は米沢の魅力をもっとうまく発信していかなければならないと思っています。そのために、例えばブランドや磨き上げなどの言葉で皆さんに提案していくということが大事だということを感じているところでございます。

委員

私自身、小学生の子どもが2人いるということや県外から嫁いで来ていることもあります。県外から結婚を機に米沢にいらして奥様方もかなり多くいると感じていて、そういった方がもっと増えると人口のプラスに繋がるのかなと思っています。

また、今の30代40代を中心に米沢を変えていきたいという思いを持っている人からたくさんお話を聞くことがありまして、資料はマイナス面のお話が多かったですが、すごく変わっていく可能性もあるので数値ばかりではないのではないかとこのころが思いの中にあります。

委員

前回の資料なども見せていただきまして、人口ビジョンや市民の意識調査などを見せていただいて感じたことを何点かお話をさせていただければと思います。

数字だけ見るとネガティブでお先真っ暗のようなイメージになってしまい、就労機会を作らなければならないということを前提としてやっても、かなり大変だろうなというところがあります。逆を取るじゃないですけども、テレワークなども定着していますので、必ずしも米沢に就労場所がないということだとしても子育てする環境には適していますなど、移住をしたくなるような見せ方というか、先ほど事務局が発信力とおっしゃっていましたが、職場は東京にあるけれども、子育ては米沢の大自然の中でしたいとか、そういった方を移住促進するためのテレワークだったら、インターネット環境も整っていますし、移住者を無料にしますという取組があったらいいのではないかと思います。就労の場所を確保しなければいけないという発想ではなく、発想転換した方がうまくいくこともあるのではないかと思いますというのが一つでした。

また、未婚率というところもありましたけれども、例えば、シングルマザー大歓迎とか、そういった方が子育てするには米沢が日本一いいらしいというような施策やお一人様を呼ぶという考え方もあっていいのではないかと思います。

移住促進をするには発信力が大切だと思いますので、うまくやっていくためにそういうことに長けた方を米沢に呼んで、そこにお金使うということも必要ではないかと思います。

委員

人口ビジョンに関するところは、とてもコンパクトかつ傾向が分かるようにまとまっていて、これは学生とも共有したいなと思いながらとても興味深くお聞きしたところでした。ただ一方で、先ほどお話がありましたけれども、前向きに自分ごとにして、今日から何かしていこうということになるには少し距離があるというか、どうやってしたらいいのかというのが悩ましいなと思いながらお聞きしていました。米沢 100 人女子会に私も参加してみたのですが、その場ではすごくいい意見も出てきて、ここで挙げられているような課題も確かに出てきたところでしたが、誰かが何かをやって欲しいというようなそういう話になりがちで、その場にいない人たちが何々してくれないのでできないというような形にどうしてもなっていたというのが参加してみても率直な感想でした。

言われているような難しさというのはあると思いますが、やはり大きいこの傾向は客観的な事実として受けとめつつ、自分たちの周りや暮らしをどこから良くしていったらいいかというような、そのきっかけづくりの小さな機会や集まりができるといいのだろうなとも思いました。それは行政が主導して必ずしもやらなくてもいいのかもしれないのですが、そんなことを思いながらこの資料を使って現状の理解を深めたいと思いました。

委員

先ほどの委員がおっしゃったことと同じ思いがありまして、お話をお伺いしておりました。雪の問題も出ておりますけれども、子育てをするなら米沢という思いで、大企業から米沢に U ターンされてきた保護者の方が決して多い人数ではないですが、いらっしゃいます。どうして米沢に戻ってきたのかとお伺いしたら、やはりギスギスした満員電車に揺られて保育園に送って行って、災害があったらどうしようとか、そういった不安な

中で子育てするよりも、米沢で子育てしたいから戻ってきましたという返事でした。やはりそういう方がいらっしやるとその方を中心にどんどん発信していき、移住する方が増えればいいのかなと思っています。この人口ビジョンの様々な表の推移を見ますと、本当に同じようにお先真っ暗かなという思いになりますが、私は人口が上昇する機会が何かのきっかけであるのではないかという期待も抱いております。私が生きていない時代であっても、子孫のために何とかしたいというような思いも強いです。そういった意味においては、ここにお集まりの皆さんの様々な立場から良い意見を出されて何とかなるようにしたいものだと感じた次第です。

あと、私の立場から申し上げますと、37 ページだったと思いますが、「人口減少は少子化への対応のみでは食い止められない」という言葉がありまして、そうなのかと思ってしまいました。私の立場からすると様々な保護者の方と関わる機会もあり、本園は結構 3 人兄弟とかも徐々に増えてきていますし、職員の中には 4 人目を出産されて育児休暇をとっている職員もおりまして現在 3 名の方が休暇中でいらっしやいます。中には、5 人の子どもを持っていらっしやる方もいるということで、そういう現状の中ですけれどもやはりお母様方に少しでも寄り添って、子育ては大変なこともあるけれども喜びもあるから、じゃあもう 1 人産んでみようかなという思いになってもらえるように、そんな思いで本当に微力ですが保護者の方とも関わらせていただいております。

委員長

この資料 1 の 1 ページ目の左下の折れ線グラフのところを見ますと、要するに山形大学生がたくさん入ってくるところで増えていて、山形大学生が卒業するところで大きく減っているということだと思います。山形大学に限らないですけれども代表して申し上げました。人口の減り幅が多いというのは、米沢市出身の山形大学や栄養大の生徒などそういう方も一緒に外に転出されているということになっていると思いますので、そこに対して継続的に関わり合いを持ち続けて、いつでも帰ってこられるように繋がりを創出していくというのも 1 つ大事なのかなと感じたところです。

(2) 米沢市デジタル田園都市構想総合戦略（骨子案）について
(資料 3 について事務局より説明)

委員

基本目標 1 (3) の有機農産物の学校給食への活用ということですが、この農家減少が著しい中で有機農産物というのは、なかなかこの有機農業への期待度はあるものの、実際有機農業に取り組んでいる担い手が 1%もない状況です。学校給食となるとまず結構なロットが必要になってくると思われますし、地元の農産物を利用させていただくと米などは十分供給できるわけですが、その他副菜などは特に冬季は提供できないのではないかとということと、その前にやはり農業の担い手をしっかり方針に見据えていただきたいという思いはあります。

あと、先ほどの人口問題とも関係してスポーツ施設の話もありましたが、米沢市は陸上競技場が米沢女子短期大学のそば、野球場、プール、サッカー場が北だったり、体育館は真ん中だったりということである意味でコンパクトを目指す上では、体育館は大分老朽化していて合宿所と併用でやっていたり、その辺の長期的な小中学校の統廃合やコミュニティセンターを建てたり、箱物的にお金を使わなければならないわけですが、

将来的なビジョンとしてどうしていくかという取組も必要なのではないかなと思っています。文化会館にしても、設備的に他の近隣の市町に比べて劣るのは皆さんご存知かと思いますが、立派な図書館がある割に文化会館は利用が少ないのではないかと思いますし、箱物を建てろというわけではないですけども、そういうスポーツ文化を振興するという意味では、もう少しビジョンとして掲げておくべきではないかと思っています。

事務局

まず 1 点目の有機農産物の件ですが、確かに委員のおっしゃったとおり、生産というのはそんなにないということを私どもも聞いておりますので、農業の振興という視点でまとめたいと考えております。例えば、「地産地消の考え」などそのような部分を庁内で協議をして盛り込んでいくような方向で、委員のご意見を聞いて改めて検討していきたいと考えております。

また、スポーツ施設をはじめとした公共施設につきましては、委員のおっしゃるとおり大きな課題でありまして、大変老朽化が進んでいるような施設もあります。本市では、この計画とは別に公共施設等総合管理計画で具体的にそれぞれの施設を今後どうしていくかという計画を作っております。そのあたりについては公共施設等総合管理計画で今後の具体的な施設をどうしていくかというのを検討してまいります。

委員

今の委員の有機農産物のところは私も同じように思っていました。例えばですが、この 2 ページの基本目標 1 (3) の文言ですけれども、「環境に配慮した持続可能な農業を推進し」の後に「地元農産物や」を追加すると、有機農産物もちろん活用を目指しているが、地元の野菜も入れていこうとしているということが明確に伝わると思いました。既に話があったように、米については活用があるというようなこともあると思うので、さらにそれを促進していくということが分かりやすいような文言であれば有機農産物だけではなくて、農林業の全体の担い手確保や育成を行っていくということが誤解なく伝わるのかなと思った次第でした。

委員

先ほどの議事の 1 とも関連して、人口減少ということで米沢市内の事業所数も減っておりまして、令和 3 年の経済センサスですと、5 年前に 4,000 ほどあった市内の事業所が 3,600 まで減っているという数字が出ています。400 事業所減少ということでこれはやっぱり廃業される方ももちろん多いですし、後継者がいなくてご商売を辞める方、あと最近では統合や本社機能に集中させるために米沢から撤退しますというような企業も多いようです。そのような中でやはり高校生や地元の 3 大学の学生に地元に残っていただくために、米沢市と様々なことをやらせていただいております。基本目標 1 の (1) の最後の方に、雇用創出に向けて企業立地を促進していくという言葉が書いております。その中で教えていただきたいのですが、八幡原工業団地もオフィシャルカディアもほぼ 100% 埋まっており、企業がそこに入り込む余地がないというようなことです。よく会員からも新しい工業団地の造成の予定はないのかと聞かれています。その辺の状況といいますか、新たにそういった造成の予定がこれからあるのかどうかということをお聞きしたいです。

事務局

八幡原工業団地につきましては分譲率がすでに 100% で、オフィシャルカディアにつきましても残区画数が 6 区画で、その区画につきましても労

働集約型ではなく、研究開発型の企業の立地を目指しているところです。そのような中で企業立地を進めていくには産業用地はほぼないというような状況です。また、八幡原、オフィスアルカディアの 2 つにつきましては、いずれも国が整備したものを市が購入した形になりますので、米沢市として産業用地団地を今まで作ったことはございません。そういう中で今年度に立地適地調査を行い、適地があるのかどうか、ある場合はどのようなところなのかという調査をしているところです。なかなか雇用といっても企業からしてみれば、人材がいるかなどの問題はありますけれども、やはり様々な企業に来ていただくことが地域経済の活性化に繋がるということから、その調査をまとめているところです。仮に、そのようなものを進めていくことになれば相当の経費がかかりますので、そこは市の財政計画を考えながら進めていくことになっていきますけれども、今の段階ではその適地はどのようなところがあるのかをまとめている、そのような段階であるということでもあります。

委員

行政 DX というところに関してですが、デジタル田園都市構想というところだと、やはりその行政の運営にどうやってデジタル技術を盛り込むかというところが大きな課題になっていると思います。例えば、キーワードとしてヘルスケア、防災、オンデマンド交通など、そういったところでアプリを活用するなどのデジタル化というのは、人口減少に伴ってやっていく必要あるだろうなと思います。特に、ヘルスケアでは、オンライン診療のシステムを作って行政に提供して実装しているケーブルテレビが既に全国にあります。先ほど小児科不足というお話もありましたので、必ずしも米沢にいらっしゃる医師ではなく、他の医師にお願いするというようなところも含めてオンライン診療や処方箋を出すなど、そういったものを活用するというのもヘルスケアの中では必要ではないかというのを思っていました。オンデマンド交通というのはどこでも流行りのようにやっており、アプリで乗り合いタクシー呼ぶなどは 1 番取り掛かりやすく、実装しているところを多くありますので、そこはすぐ取り掛かれそうなのかなと思っています。防災では米沢の場合除雪だと思いますが、除雪車が今どこに来て、いつ排雪があるなどそういったものを米沢市も活用されている LINE が一番見やすいのかなと思うのですが、アプリや SNS などそういったところで除雪の情報が見られるといいと思います。あとは、ほかのケーブルテレビの事例なのですが、保育園で園児たちの入退室がアプリで分かるような仕組みを作って提供しているところもありますので、教育関係で小学校とかにも応用できるのと思って聞いていました。最後に広報については紙で長年やっていると思いますが、ペーパーレス化というところをどのように捉えているか、また紙のニーズというのはなくならないのかもしれないのですが、やはりいつか回覧版を紙で回すという時代でなくなってくるのかなと思います。デジタル化するのであれば回覧しないで一度に送れますので、そういったところも並行しながら紙を収束させるなど、そのようなところまで出来ると効率化が図れるのではないかと思ったところでした。

事務局

様々なご事例をご紹介いただきましてありがとうございました。先ほどの資料の説明の中でも申し上げたのですが、次年度以降具体的にどのような事業をするかということを経済的な見通しも踏まえて現在取りまとめで

いるところです。DXについては利便性もありますが、一定程度コストがかかるという部分もございますので、そういったところを庁内で検討しているところでございます。この戦略を策定することによりまして、デジタル田園都市国家構想交付金という国の有利な交付金をいただけますので、そういったものを活用して市の様々な事業にデジタルの技術を使って市民の皆様の利便性を図るような取組を次回までに具体的な内容のある程度お示しはできるかと思います。

- (3) 策定スケジュールについて
 - (資料4について事務局より説明)
 - (委員からの意見はなし)

【5 閉会】